

平成27年度事業計画

1. はじめに

所謂アベノミクスによるデフレ脱却に向けた かつてない強力な金融・財政政策が奏功し、外国人観光客の著しい増加や、株式市場が15年ぶりの活況を呈する等 企業収益の改善が進み、ベアにつながるなど、我が国経済は長期にわたる低迷を脱し、ようやく回復基調に入ったと思われまます。しかしながら まだ国民の8割は景気の回復を実感出来ない という状況下にあります。

こうしたなか当センターの実績は、26年度12月末現在で、受託契約高は前年同期比12%増、契約件数は5%増と中期5ヵ年計画を上回るペースで推移しています。一方 定年延長など現役引退年齢の高齢化により会員数はほぼ横ばいから微減の水準にあります。

高齢化率が市民の26%に達するなか、生活支援・サポートに対するセンターへの期待度が契約高や契約件数の増加に現れていると言えます。今後もセンターに対する市民や高齢者のニーズは質的にも量的にも増加が見込まれます。それらの要請に応じて行くためには、会員の増強や就業開拓の活動が より一層重要になると思われまます。

高齢者の支援は高齢者自身がこれに当たるのが最も相応しい。お相手をする会員の増強は今年度最大の課題です。

2. 本年度の事業目標

本年度の事業目標は、以下の通りとします。

1. 会員数	580名
2. 受託契約高	2億4500万円
3. 就業延べ人員	50,000人日
4. 就業率	90%
5. 重篤事故	ゼロ

3. 基本計画

本年度の事業目標を達成するために、次の基本計画を実施する。

3.1 会員数の増加

魅力あるシルバー人材センターへ向けて、啓蒙活動を工夫して会員募集の在り方を抜本的に見直し、会員数の増加に繋げていく事とします。その方策として

- i. 従来実施されていた新入会員説明会を改善し、より魅力あるセンターを発信する。
- ii. 会員による口コミ入会勧誘と現在組織されている地域班、職群班を最大限活用する。

- iii. 将来、福祉・介護関係に大きな需要が見込める女性会員の増加を図る活動を展開する。
- iv. 会員数増加に繋がる新規事業を推進すると共に派遣事業も積極的に推進する。

3.2 新規事業、独自事業による業容拡大

会員数や受託契約高の増加、さらには就業率の向上に繋がる事業展開を推進する。
新規事業として、アンテナショップ事業、ワンコインサービス事業を起業推進すると共に、将来の新規事業に繋がるグリーンリサイクル事業、魚(ホンモロコ)養殖事業、花卉栽培事業などの独自事業を支援していきます。

3.3 地域活動とボランティア活動の強化

平成26年度に開始した全戸配布を基盤とした『高齢者見守り活動』や新規検討中のワンコインサービス事業の推進、さらには地区会議を積極的に活用し、より広く市民に貢献して市民から信頼される様活動を展開する事とします。

3.4 センターの運営体制の強化と改革

以下の施策を実施し、運営の効率化を図ります。

i. 適正就業・安全就業の徹底と接遇意識の向上

適正就業と安全就業は、センター活動の根幹をなすものです。
『職群班・就業ルールブック《共通編》』を基本に、就業の内容や形態を点検して適正な就業への改善を進めます。また市民の信頼性確保や仕事のリピートは、会員の接遇の良否に負うところが大きく、会員への各種講習会等の機会をとらえて接遇意識の向上を図ります。

ii. 親睦会活動の強化

楽しく元気に就業できるセンター構築には会員相互の交流や仲間作りが欠かせません。
“全会員が親睦会員”の原則はそのまま踏襲することとし、センター・親睦会・事務局が三位一体の活動になるよう強化を図り、来年のセンター創立30周年に繋げていきます。

iii. 事務局運営方法の改善と改革

『現状は最善ではない。』を合言葉に、新たに目標管理制度を導入して業務フロー・事務システムを見直し、見える管理を徹底して事務局運営の改革に繋げていきます。
さらに、その改革を確実なものとするために組織の在り方と個人の能力開発を実施する事とします。